

平成 19 年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 19 年 9 月 21 日 (金) 10 時 10 分～11 時 50 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス (アプローズタワー14 階 1401 会議室)
3. 出席者 (順不同、敬称略)

神戸大学附属図書館	石定 泰典
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
大阪国際大学総合メディアセンター枚方図書館	尾崎 茂夫
花園大学情報センター (図書館)	福島 丞
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	大西 直樹
関西学院大学図書館	中村 順治
株式会社電通関西支社	池田 定博
欠席者	
京都大学附属図書館	渡邊英理子
大阪府立大学学術情報センター	赤崎 久美
京都府立大学附属図書館	伊藤 務

4. 議 事

1) 平成 19 年度中級研修実施計画案について

①電通担当者との打合せ

2 日目の講義及び班別演習をお願いした電通の担当者 (池田氏) との打合せを行った。まず、鹿田主査から、研修の主旨、日程等の説明があり、続いて池田氏から「大阪府図書館司書セミナー」での資料を基に内容説明があった。

質疑応答があり、以下の点について確認された。

◎事前課題について

- ・演習への導入のために、事前課題を与えることが効果的である。課題は自分のキャッチフレーズとその説明文を書いてもらうのが書きやすくよい。
- ・課題は受講者決定通知と一緒に送ればチェックするための時間が取れる。
- ・課題の説明文と記入様式は池田氏に提供いただく。

◎事例報告と講義との関連について

- ・事前に事例報告の資料を見ることができれば関連付けは可能である。

◎時間配分について

- ・比較的ゆとりがあると思われる。
- ・2 日目のタイムテーブルが確定すれば研修案が確定できるので、テーマと併せて来週中に池田氏に提示いただく。必要な準備物についても池田氏に指示いただく。

◎配布資料について

- ・間に合えば冊子に含められるような形で作成する。
- ・映像資料、パワーポイントの資料は事前に動作チェックが必要。

◎班編成について

- ・5人×10班くらいが適当である。
- ・発表については1班あたり3分見当で、講師の発言を入れて1時間くらいで丁度よいと思われる。

◎座席について

- ・固定席の方が事前課題を返しやすく、座席表があると便利である。
- ・事前課題からキャッチフレーズ名簿を作ることも考えられる。

◎その他

- ・池田氏には当日は朝からおいでいただく。
- ・謝礼は予算の範囲内で問題はない。

②スケジュール確認

以上の議論を踏まえて、スケジュール案に、事前課題の発送（11月1日）と同提出締切（11月14日）を加えることとした。

また池田氏の資料は10月31日までにいただき、大阪市立大で開催する専門委員会で確認することとした。

③開催予告文書について

鹿田主査から提示された文案を検討し、一部文言修正を行った。運営委員会事務局に周知を依頼することとした。

④その他

- ・応募用紙の文言修正を行った。
- ・パネル用の質問・意見記入用紙の見出しを日程案の文言と統一した。
- ・予算案について、ある程度丸めた数字でよいのかとの質問が出され、残が出れば繰り越しするので、不足することのないよう配慮した数字とすることとした。
- ・国立国会図書館関西館職員の聴講希望が出されているとの報告があり、認める方向で運営委員会に提案することとなった。
- ・国立国会図書館関西館の村上講師から出されている講演内容についての質問はテーマを伝えて講演者におまかせしてはどうかということになった。
- ・早稲田大学仁上講師の承諾の件は、来週初めに正式決定する見込みであるとの報告があった。
- ・パネルトークの打合せ時間が昼食時だけでは不十分ではないかとの意見が出され、コーディネータをお願いする大島氏の意向を聞くこととした。

以 上